

ITOSUGI

いとすぎの丘



Thai&Japanese afternoon



防災訓練

Pick Up

ホームページの
リニューアルを行いました。

在校生や卒業生にインタビューしたMOVIEを公開していますので、ぜひご覧ください。



新入生オリエンテーション

- 学長の言葉
- 大学行事
 - 新型コロナウイルス感染症対策
 - 卒業生へのメッセージ
 - 学生表彰
 - 新入生へのメッセージ
- 大学の活動
 - RCT☆LINK
 - 国家試験壮行会
 - 入試結果
 - 公開講座
- Information

パンデミックがもたらすもの

学長 鎌倉 やよい

21世紀は感染症の時代と言われ、エボラ出血熱、MERS（中東呼吸器症候群）、SARS（重症急性呼吸器症候群）、新型インフルエンザなどが記憶に新しい。ウイルスの感染拡大に対し治療薬やワクチンを開発して対抗すると、次には変異したウイルスが出現し感染を拡大させるといった、終わりのない騒ごっこが続いている。2019年12月中国の武漢での感染症発生に始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界中に拡大し、その中心はヨーロッパとなり、世界保健機関（WHO）は3月11日「パンデミック」を宣言した。

日本では、COVID-19患者の増加により、7都府県に緊急事態宣言が発出され、愛知県は独自に緊急事態宣言を発出し、三重県と岐阜県がそれに続いた。その後、2020年4月16日、緊急事態宣言が全都道府県に拡大され、愛知県は特定警戒都道府県に指定された。感染拡大を防ぐために休業要請が出され、外出自粛が繰り返され続けている。1人の感染者が生み出した二次感染者数の平均値は「実効再生産数」と表現され、これが1.0未満になると感染者数が減少に向かうこととなる。しかし、感染経路が特定できない患者数は増加し、収束の兆しは見えない。

振り返ると、1990年には、富家恵海子氏による「院内感染」と題する書籍が出版された。大学教員の夫が、夏休みに食道静脈瘤の予防的治療を受け、手術は成功したもののMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）による感染症によって死亡した。富家氏は、夫がなぜ死ななければならなかったのかと徹底的に調査し、出版によって病院を社会的に告発したものであった。原因として示されたのは、医療者の不十分な手指消毒によってドアノブや手すりへ付着した菌による感染拡大の可能性であった。

そのような歴史を経て、現在は病院に感染制御室が設置され、感染制御の医師や感染症看護専門看護師や感染管理認定看護師が活躍し、院内感染のアウトブレイクを予防する対策が実施されている。医療者が行う

感染予防対策の基本は、スタンダードプリコーション（標準的感染予防策）の実施である。今回の、新型コロナウイルスは接触感染、飛沫感染、マイクロ飛沫による感染が考えられ、感染予防のために手指消毒、マスクの着用、換気が求められている。

さて、本学では3月には新型コロナウイルス感染予防対策本部を立ち上げ、基本方針として「新型コロナウイルス感染拡大を予防して、学生・教職員及び地域の安全を守る。」を掲げた。対策本部は、学生オリエンテーション実施時の感染予防対策に始まり、昼食時、スクールバス内、授業、臨地実習における感染予防対策を確定しては実行してきた。また、感染予防の知識と感染予防行動に関する啓発活動として、コンテンツを作成して配信してきた。

さらに、重要なことは、このような緊急事態であっても、学生の安全と教育の質を保証することである。5月11日に緊急事態宣言が継続していることを前提としたリスクマネジメントを行う必要があり、当日に授業を再開することを決定し、オンライン授業を中心に切り替えることなどの検討を重ねてきた。また、臨地実習の実施方法について、実習施設と期間・時期を調整し、学内実習を組み合わせることで、教育の質を保証する努力を重ねている。この緊急事態の先行きを見通すこと難しいが、教職員は工夫と努力を重ね、学生の皆様と共に乗り越えていきたいと願っている。



新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

令和2年3月30日、学長を本部長として「新型コロナウイルス感染予防対策本部」(以降「対策本部」という。)を設置しました。

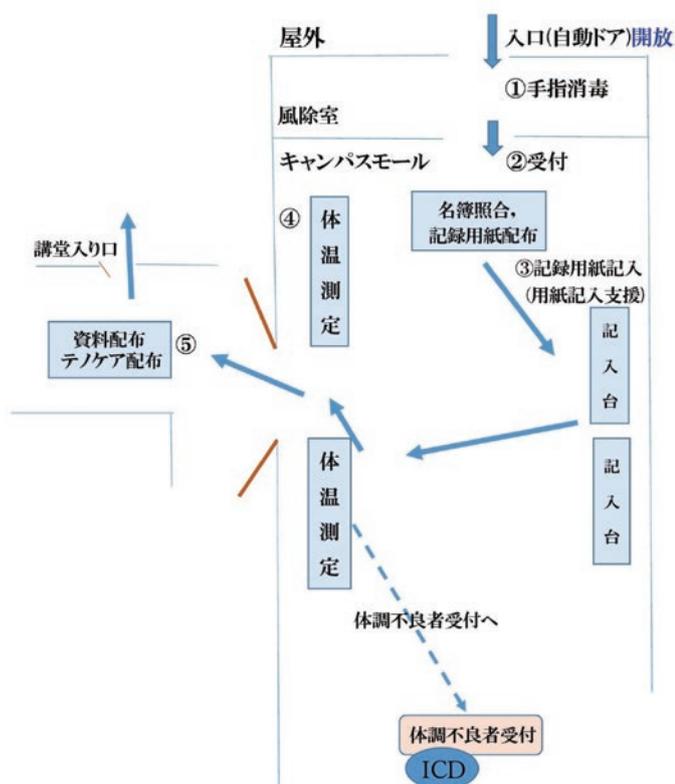
対策本部では、感染拡大予防の基本方針「新型コロナウイルス感染拡大を予防して、学生・教職員及び地域の安全を守る」に基づき、講義・演習班など11班の機能班を組織し役割を明確に分担して、対策等を実施しています。

4月はじめに実施した、新入生・在学生オリエンテーションでは、事前に渡航歴とその日程を確認し、当日には手指消毒、マスク着用、体温測定、座席の指定、

十分な換気を行い、万全の感染予防対策を行いました。昼食時の3密(密接・密集・密室)を避けるため、食堂スペースを体育館・ヘルスプロモーションセンターまで広げ、各テーブルに飛沫感染防止のための仕切り板を設置しました。昼食後には次の使用に向けて、教職員で消毒を行いました。

また、本学の下間教授(Infection Control Doctor: ICD)がイラストを用いたコンテンツ(スライド資料)を作成し、感染予防の啓発活動に努めています。コンテンツ(スライド資料)は、感染症予防対策のためにご自由にご活用いただくことができます。

(HP : <https://www.rctoyota.ac.jp/>)



<新入生・在学生オリエンテーション時の受付>



<食堂スペースでの飛沫感染予防のための仕切り板の設置>



<食事用テーブルの消毒作業の様子>



<本学入口での手指消毒の様子>



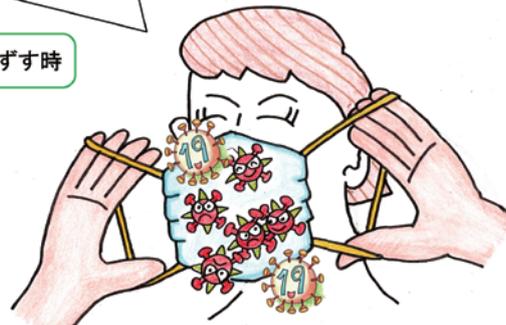
<体温測定>



<3密を避けるための食堂スペースの体育館への拡大>

マスクの表面には、ウイルスが附着しているかもしれません。
ゴムのわっかの部分に手をいれて
マスクの表面に触らないように注意しながら
マスクをはずしましょう。

マスクをはずす時



<感染症予防対策のためイラストの1枚>

卒業生へのメッセージ

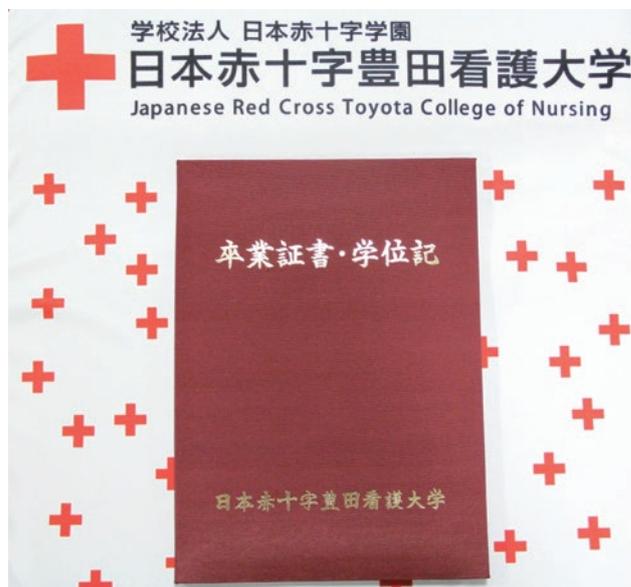
レジリエンスを信じて想定外の試練を乗り越えよう!

学部長 村瀬 智子

129名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、皆さんが心待ちにしていた卒業式を挙行することができず、教職員一同、本当に残念に思っています。歴史を振り返ると、100年に一度、私たちは、このような想定外の試練にさらされています。皆さんは、きっと、この4月からの新天地で、いつもとは違う日常を経験しながら、日々、頑張っていることと思います。皆さんは、本学で、学友と支え合い、実習で出会った患者様やご家族、実習指導者の方々と触れ合い、さまざまな人生経験を積み重ねてきました。その豊かな人生経験が、専門職としてのキャリアアップにつながります。これまで、いろいろなことを乗り越えてきた自分自身のレジリエンス（回復力）を信じて、つらさを楽しみに変え、失敗を成功に変える努力をして下さい。皆さんには、輝かしい未来を創造する力があるからです。

どのような時にも、支えて下さる人たちや仲間が、きっと傍に居ます。もちろん、皆さんの母校である本学



も、いつも皆さんを応援しています。

皆さんのご健勝とご活躍を教職員一同、心からお祈り申し上げます。

学生表彰

毎年、成績優秀者やボランティア、サークル活動で優秀な功績を残した学生に表彰を授与しています。

令和元年度受賞者一覧（※令和元年度での学年です）

○学業において大変優れた成績をおさめた学生

- 1年生 堀山 みたま
- 2年生 末廣 崇人
- 3年生 前田 万綾
- 4年生 伊藤 沙月

○最優秀卒業論文に選ばれた学生

- 4年生 伊藤 秀美
- 加藤 妃菜
- 福富 千夏

○私立看護系大学協会会長表彰

- 4年生 伊藤 沙月

○課外活動を通して対外的に優れた評価を受けた学生

- 2年生 水内 善樹
- 4年生 塩見 歩華

○顕著な活動が認められたサークル

- DMAC（災害支援サークル）



新入生へのメッセージ

皆さんを心から歓迎いたします

研究科長 山田 聡子

学部生のみなさん、大学院生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

保護者やご家族の皆様にも御祝いを申し上げます。

例年であれば、みなさんの晴れやかな笑顔があふれる入学式が開催され、在學生と教職員も新しい年度に心が躍り、明るい雰囲気がキャンパスに広がる季節です。今年は例外の新年度となりました。現時点では5月11日から授業開始を予定し、みなさんの学びを支援する方策の検討を進めています。

新入生のみなさんは、平時であっても新たな環境やこれからの学びに不安や心配を抱く時期にこの状況が重なり、不安が大きくなっていることと思います。本学では赤十字らしく「人道」を大切に、この状況下で看護系大学として何をすべきかを考え、みなさんや社会に向けて情報発信を続けています。また、単科大学らしく教職員が協力をして、手作りの工夫を重ねています。



みなさんも本学学生としてできることを考え、行動に移していただけると嬉しく思います。新入生と在學生のみなさんと教職員それぞれができる小さなことの積み重ねで、今の苦難を乗り越えたいと思います。キャンパスに日常が戻るよう皆で協力いたしましょう。「いとすぎの丘」がお手元に届くころには日常が戻っていることを祈りつつ…。

あらためまして、ようこそ日本赤十字豊田看護大学へ。皆さんを心から歓迎いたします。

学部新入生

被災者の方々を支える 看護師に

学部新入生 太田 和花

私が看護師を目指したきっかけは熊本地震でした。私自身、直接、熊本地震の被害を体験していませんが、熊本在住の友人の父親が医療チームとして支援やボランティア活動に参加した話を聞いて、災害現場で働くことに興味を持ちました。看護師の災害現場での活動を調べてみると怪我を負っている方の手でや、精神的に苦しんでいる被災者の方々の心のケアを行い献身的に支えている姿に心がれを抱きました。その憧れから災害現場で看護師として働きたいと強く思うようになりました。

近年、自然環境の変化による影響が大きな災害が増えています。私は有事の際に冷静に適切な処置を行い被災者の方々を身体的にも精神的にも支えられるような看護師になりたいと考えています。そのためにも日本赤十字豊田看護大学で看護の基礎知識を学ぶだけでなく沢山の人の関わりを大切にし、社会に貢献できる人材になれるように精進していきます。

大学院新入生

地域で活躍できる認定看護管理者を 目指して

大学院新入生 黒田 直美

少子高齢化社会による人口構造や社会情勢の変化から医療保健福祉介護制度は、目まぐるしい変化です。この変化に柔軟に対応していくために、高度看護実践者が必要となります。私は、認定看護管理者となり、住み慣れた地域で患者さんがその人らしく生活し続けるために、地域との看護連携を強化し、地域を一つの看護組織として考える看護実践を目指しています。

2020年は、新型コロナウイルス感染拡大により、未曾有な状況が発生しています。医療保健福祉介護分野が連携し、感染防止活動と共に、必要な医療サービス提供を継続できるように、試行錯誤を重ねています。今回、日頃から大切にしてきた顔が見える看護連携に助けられています。

私は、認定看護管理者研修ファースト・セカンドを受講し、自己研鑽を重ね、看護管理者として必要な知識・技術・態度を身につけてきました。看護副部長となり、自己の看護実践経験を学問として振り返り、今後の人材育成に貢献していきたいと強く考えるようになり修士課程の進学を決心しました。課題研究を行い、看護研究の支援ができる能力を培いたいと考えています。

仕事との両立について不安はありますが、職場の協力に感謝しつつ、自施設のフィールドにとらわれない認定看護管理者を目標に研鑽していきたいと思っています。

RCT☆LINK

私の目指す看護

3年 岡副 瑠里奈

「日本だけではなく、医療の届かない国や地域で命を救う仕事がしたい。」私が看護師を志し、この大学に入学した理由です。このように思うようになったきっかけは、小さな子供が銃を持って戦っている映像を見たことです。子供たちは教育を受けることも、毎日食べ物を食べることも出来ず、命をかけて戦っている日常。そして、適切な医療を受けることが出来ず失われていく命。私はその現実を知りとても衝撃を受け、将来、医療に携わりそのような命を救いたいと思うようになりました。この大学に入学しThe Serendipityのサークル活動ではカンボジアを訪れました。現地を訪れるまでは、けがや病気で苦しんでいる人を助けることが自分に出来ることだと思っていました。しかし、活動を通して、現地で問題となっている疾患は、綺麗な水を使うことが出来ないこと、予防接種を打つ習慣がないことなどの環境が原因であることがわかりました。日本で行われている早期発見・早期治療ではなく、カンボジアでは環境整備や正しい知識を普及することで疾患を未然に防ぐことが出来るということ学びま

した。また、日本と異なった文化があり宗教上の理由で治療を受けない人もいることを知り、ただ自分が必要だと考える医療の知識や技術を提供することが現地のすべての人たちが望んでいるわけではないと気づかされました。今、必要とされていることは何かを常に考え、一人でも多くの命を救える看護師を目指して日々努力し続けます。



国家試験壮行会

4年生へエールを！

令和2年2月7日(金)に看護師及び保健師国家試験壮行会を開催しました。

3年生が中心となって企画・運営を行い、国家試験に臨む4年生を励ますことを目的として、毎年実施してい

ます。

鎌倉学長をはじめ、教員一人ひとりから応援メッセージを送り、在学生代表者からは4年間を振り返る動画と合格を祈願したお菓子 (KitKat「きっと勝つ!」) を贈呈しました。



令和元年度国家試験実績

<看護師>

合格率 96.9% (全国平均 94.7%)
受験者 129名 合格者 125名

<保健師>

合格率 100% (全国平均 96.3%)
受験者 22名 合格者 22名

2020年度入学試験結果

学部 入試区分	定員	志願者数	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数
一般入試	40	241 (20)	238 (20)	94 (9)	2.5	55 (4)
センター利用入試 (前期A)	6	102 (7)	102 (7)	36 (2)	2.8	4 (0)
センター利用入試 (前期B)	6	98 (10)	98 (10)	34 (4)	2.9	3 (1)
センター利用入試 (後期)	6	16 (0)	16 (0)	12 (0)	1.1	11 (0)
高等学校長推薦入試	30	41 (4)	41 (4)	31 (2)	1.3	31 (2)
日赤中部各県支部長推薦入試	30	25 (0)	25 (0)	25 (0)	1.0	25 (0)
社会人特別選抜入試	2	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0.0	0 (0)
計	120	524 (42)	518 (42)	232 (17)	2.2	129 (7)

学部 入試区分	定員	志願者数	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数	
大学院入試 (修士課程)	前期	10	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	2 (0)
	後期		3 (0)	3 (0)	2 (0)	1.5	2 (0)
大学院入試 (博士課程)	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)	

※ () 内は男子学生数再掲。倍率は小数点以下第二位を四捨五入。
 大学院入試 (博士課程) 定員は北海道・秋田・広島・九州と本学合わせて計10名。
 令和2年度の本学定員は2名。

2020年度公開講座一覧

■一般向け公開講座

講座名	日時	内容
第4回こころの健康づくりシンポジウム	12月19日 (土) 13:00~15:00	「医療・看護・芸術」をテーマに、こころの健康と芸術のつながりについて、異分野のコラボレーションによる心の癒しについて考えます。
更年期をすこやかに過ごすためのアロマセラピー	令和3年2月6日 (土) 13:00~14:30	更年期の症状がある方を対象にアロマセラピーを用いたマッサージなどを一緒に行います。
食事と味覚	令和3年3月12日 (金) 10:00~12:00	おいしさを構成する要素のひとつである「味覚」と、「健康」や「食」との関係について学んでいきます。

※日時および内容が変更または中止になることがありますので、予めご了承ください。

■専門職向け研修会

題名	日時	領域
コンフリクトを乗り越えて交渉力UP!	11月7日 (土) 9:00~12:00	看護管理学
学生がよく学ぶ在宅看護学実習指導を目指して	令和3年2月6日 (土) 13:00~16:10	在宅看護学
幼稚園・保育所に滞在する子どもが医療機関を受診するまでの対処	令和3年3月13日 (土) 13:00~16:00	小児看護学
ストレングスモデルの実践的展開を目指そう!	令和3年2月25日 (木) 13:00~16:00	精神看護学

※日時および内容が変更または中止になることがありますので、予めご了承ください。

Information

Event

大学行事

5月	1日(金) 日本赤十字社創立記念日 11日(月) 授業開始	9月	23日(水) 第1回大学院入学試験
		10月	19日(月) 防災訓練

寄付金

教育研究環境充実のための設備や教育資材等を適時、適切に整備し、学生に対して十分な教育環境と学生生活の支援を行うことを目的として、日本赤十字豊田看護大学サポーターズ募金「いとすぎ募金」を創設いたしました。是非とも「いとすぎ募金」の趣旨をご理解・ご賛同いただき、皆様からのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 活用法

- ①教育活動の充実 ②研究活動の充実 ③奨学金制度の充実 ④学生生活の支援
⑤施設整備の充実 ⑥社会連携の推進

2. 金額

- ・1口 5,000円(個人) ・1口 10,000円(法人)
※1口から10口程度お申込みいただけますと有難く存じます。

3. 税制上の優遇措置

本学への寄付金は、税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。
申込方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。
ご寄付のお願い (<https://www.rctoyota.ac.jp/general/donation.html>)



最新情報をチェック!

入試情報や最新情報を発信していきます

LINE 公式アカウント



Instagram



Twitter



12月より、愛知県内の赤十字施設の共同Instagramを開設しました【@nisseki_aichi】

令和2年度新任教員

教授	福間 長知	専門基礎
准教授	清水みどり	老年看護学
講師	橋本 亜弓	老年看護学
講師	深谷 由美	在宅看護学

助教	臼井かおり	老年看護学
助教	飯田 大輔	精神看護学
助手	今里佳代子	成人看護学
助手	岩本真貴子	母性看護学

令和2年度新任職員

総務課兼経理課	恒川美智子
総務課	中根 春波
経理課	芝口 太一
図書館課	池上 健二

編集後記

今年の春は想定外の「新型コロナ禍」の中、医療に携わる人々の献身を目の当たりにし、看護師育成を担う本学の責任を改めて感じています。また学内の環境整備、オンラインでの授業準備に教職員が一致団結し、協働の素晴らしさも実感する毎日です。

「いとすぎの丘」Vol.31では、このような状況下で卒業や入学の節目を迎えた卒業生、新生にエールを送るとともに、感染症対策の取り組み、新生、在学生の声、今年度公開講座の予定などをお伝えしています。ご執筆下さった皆様に感謝申し上げます。これからも、大学の取り組みや活動などを発信して参ります。皆さまからのご投稿もお待ちしております。

いとすぎの丘 Vol.31

発行日/2020年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228

FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>